

議員全員協議会会議録

1 開会日	令和6年12月10日(火) 午後1時30分 開会 午後2時29分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	吉川 重雄 二宮加寿子 橋本 秀彦 鈴木たまよ 亀倉 弘美 玉虫志保実 竹内恵美子 鈴木 京子 石川 則男 清田 文雄 高橋 英俊 毛利 泰輔 おかみゆき 庄子 幸太
4 説明員	町側出席者 池田 東一郎 町長、鈴木 一男 副町長、府川 陽一 教育長 佐野 慎治 政策総務部長、藤本 政策総務部参事(政策担当) 大槻 直行 教育部長、小林 英文 総務課長
5 職務のため出席した職員	局 長 岩本 清嗣 書 記 池田 要
6 その他	一般傍聴 なし

■町長あいさつ

- ・12月12日（木）は、12月議会定例会の最終日となる。議案の審議等よろしくお願ひしたい。
- ・12月21日（土）に「大磯子どもサミット」を開催する。12月30日（月）に、歳末火災特別警戒の一環として特別巡視を行う。1月6日（月）は新春行事として、町条例表彰者表彰とあわせて賀詞交換会を開催、1月12日（日）は出初式と左義長、1月13日（月）は成人式、1月19日（日）は大磯一周駅伝などを予定している。

■議題

(1) 各委員会等の行事報告・予定について（別紙）

(2) 主な報告事項

① 委員長等からの報告

○議会運営委員会 高橋委員長

11月22日（提出された陳情の取扱い、一般質問の時間割）

○福祉文教常任委員会 清田委員長

11月18日 閉会中の所管事務調査（学校教育施設の整備について）

12月2日 委員会（陳情第12号、陳情第14号、陳情第15号の審査）

○議会だより編集委員会 庄子委員長

11月22日（第220号の反省、第221号の編集日程、掲載予定記事）

12月2日（第221号の割付、第221号の記事分担）

② 監査委員からの報告 玉虫監査委員

11月22日 定期監査（町民課）

11月26日 例月出納検査

③ その他

(3) 協議事項

① 議会報告会のまとめについて

※二宮 議会報告会推進委員会委員長より説明

※報告書のまとめについて、各自確認し指摘事項等があれば12/12までに事務局まで。

議員各位の意見等を踏まえ、委員長に取りまとめを一任し、議長決裁を経て議会HP、議会だより等で公表。

② 意見書案の提出について

※清田 議員から、本定例会に提出された陳情について福祉文教常任委員会に付託され審議した結果「採択」された3件について、国及び県に対する意見書（案）を提案したい旨の説明があった。意見書案を事務局で朗読後、清田議員から提案理由の説明があり審議した。

・介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書

・国に私学助成の拡充を求める意見書

・神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書

※主な質疑

・年度標記で、西暦と和暦が混在してるので、どちらかに統一したほうが良いのでは。

⇒陳情に合わせた標記のため原案のままとする。

⇒賛成者については、陳情審査の結果なので、慣例どおりとする。

※協議の結果、慣例により3件とも、提案者は常任委員会委員長の清田議員に、賛成者は陳情審査で採択に賛同した亀倉議員、玉虫議員、石川議員、庄子議員となり、定例会最終日（12/12）に提案することとなった。

※議長から、定例会最終日（12/12）の提案のために議会運営委員会を開催し日程等について協議するよう指示があった。

③ 議会だよりについて

※前回の議員全員協議会で庄子委員長から報告のあった件について、議会だより編集委員会として取りまとめた結果報告が庄子委員長からあった。

・議会だよりの体裁について、令和7年度の3月定例会号（225号）からフルカラー紙面及び全文横書き記事、左綴じに変更したい。今年度、広報おおいそは横書き左とじに変更したことから、議会だよりも歩調を合わせるもの。フルカラーへの変更は従来の2色刷りと比べ若干だが予算増を伴うが、町民の読みやすさ、親しみやすさを重視し実施したいため議員各位の承認を得たい。

※承認

④ その他 なし

(4) 事務局からの報告

① 議員研修会について

・年度内に開催
・テーマ（未定） ※1月10日（金）までに議員各位から募集

※主な質疑

・今年度の予算はいくらか。予算内に収まれば上限まで使えるのか。

⇒10万円。予算内で講師を呼べればと考えている。

・これまで割と総務建設関係で研修をしているので、福祉文教の関係でできればと思う。

・6年度予算は10万円、7年度は実績を見て半額とのことだがなぜか。

⇒これまでは1回5万円の2回で予算取りをしていたが、ここ数年は1回しか開催できなかったため、実績を鑑みたこと、また今回は例年より予算要求額が増えたため、町全体の収支バランスも考え、1回分5万円とした。

② 令和7年度 議会費当初予算（内示）について

・12月6日、財政課から要求額どおり承認された旨の内示があった。

③ その他 なし

(5) その他

○議会だより220号について（玉虫議員）

私の一般質問の記事が文責が本人であるにも関わらず同意なしに訂正された。このことを正副委員長に伝えたが、なんの説明も謝罪もない。あってはならないことだと思い皆様にお伝えさせていただいた。

⇒議員から、その旨抗議をいただきお詫びした。その状況を事務局も含め調べた結果、こ

れまで文責本人の部分について委員会で訂正した場合は、事務局から議員に伝えていたので、今回も同様に事務局に依頼してしまった。それを確認しないまま、最終の校正まで進めてしまった。今後、再発防止としてマニュアルをつくる、必ず、御本人に確認をとるということを議会だより編集委員会の中で説明をした。

※主な意見

- ・文責本人の一般質問は事務局を通して本人に確認という流れを前回とっていたということだが、事務局云々ではなくて本人の確認を取っていないことが駄目。
- ・事務局を通してではない、委員長として行動すべき。
- ・委員長をしていた時に、事務局にお願いしたことはあったが、本人に承諾を得たかの確認はしていた。大きく変更することは基本的にはしていなかったし、本人が書きたい表現というのがあるのでそこは尊重していた。

議長) 事務局を通してではなくて、編集委員会で本人に確認をとるべき。

○LINE・WORKSの活用について(亀倉議員)

- ・全体グループのほかに各委員会のグループが設定されているが、日常の活動の中でどこまで活用しているのか確認したい。例えば、議会だより編集委員会活動で視察先の候補地をどうするかとか、記事の案を出し合うとかできないものか。委員会に関連する議員間のやりとりをしていいのか。

⇒11月の全協で説明したが、情報共有ツールとして活用することで、①カレンダー機能・スケジュール管理、②トーク機能・情報共有のためのグループライン利用、③アンケート機能・安否確認システムの活用となる。

議長) 基本はそういうことで、別途ICT検討小委員会で少し練ってみてはどうか。

※次回の定例の議員全員協議会は、1月16日(木)午後1時30分から開催を予定